

|     |       |     |       |         |       |     |   |
|-----|-------|-----|-------|---------|-------|-----|---|
| 教科名 | 地歴公民  | 科目名 | 日本史探究 | 年次      | 2年次選択 | 単位数 | 2 |
| 教科書 | 高校日本史 |     | 副教材   | 最新日本史図表 |       |     |   |

## 1 科目の目標

- ・我が国の歴史の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ・古代から近世の日本の歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて構想したりする力、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ・日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

## 2 学習について

- ①予習の仕方について：前もって、次回授業の教科書2ページ程度を読んでおきましょう。
- ②授業の受け方について：先生の説明をよく聞いて、最低限、板書を早くノートに正確に写すことを心がけましょう。ノートは板書事項を写すだけでなく、自分が大切だと思ったことは書き加えると良いでしょう。常に「なぜ・どうして」といった疑問をもって考える姿勢で授業を受けましょう。
- ③家庭学習の仕方について：授業中に疑問に思ったことなどは、自分なりに調べてみましょう。新聞・TVなどでニュースをチェックしましょう。過去の出来事（歴史）との因果関係を調べると現代の出来事がよく理解できます。歴史を扱った映画やテレビ番組、小説を見て、歴史背景の理解を深めましょう。

## 3 学習計画

| 考査 |          | 単元名（学習項目）             | 学習内容（ねらい）   |
|----|----------|-----------------------|---|
| 前期 | 前期<br>中間 | 日本文化のあけぼの<br>古墳とヤマト政権 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本列島の歴史的環境と文化の形成を理解する。</li> <li>・ヤマト政権の誕生と統一国家の形成について考察する。</li> <li>・東アジアの情勢に触れながら律令国家の形成を理解する。</li> </ul>  |
|    | 前期<br>期末 | 律令国家の形成<br>貴族政治の展開    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良時代の政変、土地制度、仏教文化を理解する。</li> <li>・摂関政治の特色を理解し、国風文化について考察する。</li> <li>・東アジアの変動が、日本の対外関係に与えた影響を考察する。</li> </ul>                                       |
| 後期 | 後期<br>中間 | 院政と武士の進出<br>武家政権の成立   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・荘園制の仕組みと武士の台頭を関連させながら考察する。</li> <li>・院政と武家政治のしくみを理解する。</li> <li>・元寇が幕府に与えた影響と新仏教誕生の背景を考察する。</li> </ul>  |
|    | 学年<br>末  | 武家社会の成長<br>近世の幕開け     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・南北朝の動乱から幕府の成立・衰退と庶民の生活を理解する。</li> <li>・室町文化と現代文化との関連、戦国大名の分国支配を考察する。</li> <li>・織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一の過程を把握し、織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。</li> </ul> |

## 4 観点別評価

| 知識・技能                            | 思考・判断・表現                             | 主体的に学習に取り組む態度                          |
|----------------------------------|--------------------------------------|--|
| 古代・中世の歴史事象を理解し、資料を正しく読み解くことができる。 | 歴史事象の背景、課題を把握し、考察したことを説明・議論することができる。 | 日本の古代・中世の歴史に関心を持ち、現代の諸問題の解決に活かそうとしている。 |

## 5 評価方法

計 70時間（50分授業）

定期考査・課題考査・授業内小テストの成績、提出課題、学習態度等によって総合的に行います。

知識・技能…50%、思考・判断・表現…40%、主体的に学習に取り組む態度…10%

